

毎日

「水通し洗浄」

営業終了後に必ずビール成分を洗い流しましょう



1 バケツをカランに掛ける。
(バケツは2リットル以上入るものを用意)



2 両手で操作 握らない
開閉ハンドルを閉じて、ヘッドを樽から外す。



3 「ヘッド下部」をきれいな水で洗う。



4 水を入れた洗浄ボトルにヘッドを取り付ける
(熱湯や薬剤等は絶対に入れない)

▲警告 ヘッドはしっかり取り付ける。取り付けが不十分だとガスがかけた時、ヘッドがボトルから飛び出し怪我をする恐れがある。



5 ヘッドを開く



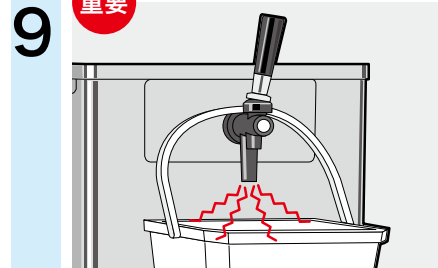
6 水をビール回路に流し込む
カランレバーを開いて回路内に残っているビールを流し出す。



7 ビールが水に変わったらカランレバーを押して「泡付け」の位置にし、泡付け通路を洗浄する。再びカランレバーを手前に引いて、ビール回路に水を流す。(この操作を5回以上繰り返す。カラン根元のナットのゆるみに注意)



8 ヘッドを閉じる
水が出切ったら、開閉ハンドルを閉じる。



9 重要
ガスが抜けるまで待つ。
シューという音がなくなるまで数秒待つ。
▲警告 音がしている間にヘッドを外すと、ボンという音とともにヘッドがボトルから飛び出し怪我をする恐れがある。



10 ガス抜きボタンを押す(必ず実施)
洗浄ボトルのガス抜きボタンを押し、残ガスがないことを確認。



11 カランをサーバーから外し、分解して洗剤でよく洗う。(Oリングの紛失に注意) 受皿も外し洗剤で洗う。

Oリング



12 カランを組立て、サーバーにセットする。
カランレバーが閉じていることを確認する。



13 ビール樽の口金に残っているビールをキッチンペーパーで拭き取る。

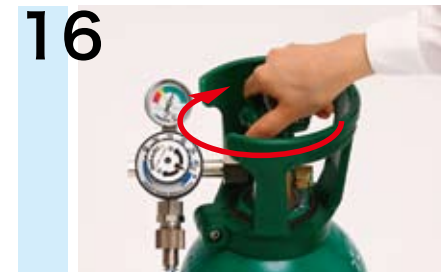


14 口金をきれいな水ですすぎ、新しいキッチンペーパーで水分を完全に拭き取る。



15 ヘッドをビール樽に取り付ける。

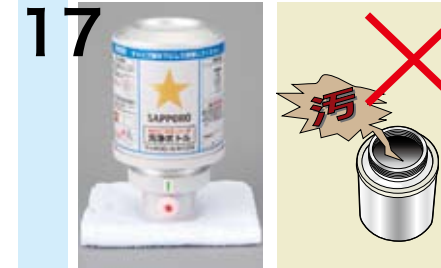
洗浄後は、ヘッドの開閉ハンドルを閉じたまま、翌日までビール回路にビールを流さないでください。



16 ポンペの元栓を閉じる。

<営業終了後の注意>

不慮の原因により、ビール漏れやガス漏れにつながる恐れがあるので、営業終了時は必ずヘッドの開閉ハンドルとポンペの元栓を閉じること。



17 使い終わった洗浄ボトルは、よく水洗いしてから、逆さにして清潔な布巾などの上に置き水切りする。汚れた洗浄ボトルを使うと回路内に汚染する恐れがあるので常に清潔に。

翌日

営業開始時の「ビールの呼び込み」手順

営業開始時にロスを少なくするためのテクニックです。

- 1 ポンペの元栓を開く。
- 2 ガス圧を確認する。
- 3 開閉ハンドルを開く。
- 4 カランレバーを押して泡付けにし、ビールを注出口まで導く。
- 5 カランレバーを開き、ビールを出す。ビールが透明になったらカランレバーを閉じる。